

第1回国土交通省 IT 政策検討会
議事概要

日時：平成 28 年 3 月 4 日 15:00～16:10

場所：総合政策局国際会議室

[概要]

1. 冒頭、毛利総合政策局長より挨拶。
2. 金子情報政策課長より、国交省の取組等について説明を行った。
3. 神田委員より重要インフラ分野におけるサイバー攻撃への対策についてプレゼンテーションを実施した。

質疑応答を行ったところ、発言概要は以下の通り。

〈会議の進め方〉

- 会議の進め方は、①総合政策局が分野横断的なセキュリティを司る部局であることに留意しつつ、②将来に向けての施策も着実に進めていく必要があること、③オリンピック等に向けて全省挙げてのサイバー対策が大事であること、また、④関連する事業者への対策をどうするか、といった観点からご意見を頂くこととする。
- 4回の検討会で結論をまとめるということなので、論点を毎回絞っておくと議論しやすいかもしれない。

〈資料の説明及びプレゼンについて〉

- プレゼンについては、ペネトレーションテストの重要性を感じさせられた。重要インフラに限らず、人命に関わるインフラを保持する必要がある。また、情報共有も重要。
さらに、これらを検討するに当たって、現在の事業者の対策の状況やニーズなど、現状を把握しておく必要があるのではないか。
- 最近の攻撃は執拗。攻撃される側も攻撃パターン等を情報共有して対策をとることが大事。国交省は所管事業者も多岐に渡るため、横串で情報共有できる強みがある。
重要インフラの場合、事業継続の面から、セキュリティ・バイ・デザインでシステムを構築していくことが重要。
- まずは 2020 年にめがけて何をしていくかが大事であり、これを見据えて議論すべき。時限的なターゲットを作っておくことが必要。

〈今後の予定〉

- 次回は 3 月 25 日に開催する。